

**NEC Hyper Converged System for VMware vSAN
エクスプレス通報サービス
導入手順書**

2023年11月 第1.2版
日本電気株式会社

目次

免責事項	2
商標および著作権	2
改版履歴	2
はじめに	3
対象読者と目的	3
1. NEC HCS のエクスプレス通報サービス	4
2. エクスプレス通報サービスの運用に必要な作業	5
用語集	32

免責事項

本書の内容の一部または全部を無断で複写・改変・再配布することを禁じます。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

本書の作成者および作成に関連する部門は、本書の技術的もしくは編集上の誤記・欠落・瑕疵が存在する場合においても、一切の責任を負いません。

本書の作成者および作成に関連する部門は、本書の内容に沿った操作を行って生じた事象（障害・不具合、およびこれに限らず全ての現象）、ならびに、本書の内容に沿った操作を行ったにもかかわらず記載と異なる動作・結果・障害が生じた場合に関して、一切の責任を負いません。

商標および著作権

VMwareは、米国およびその他の地域におけるVMware, Inc.の登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Microsoft Edgeは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書内に記載されている会社名および製品名は、それぞれの所有者の登録商標または商標です。

なお、VMware社の商標に関する詳細は <https://www.vmware.com/jp/help/trademarks.html> を参照ください。

本書では、(R)とTMの表記を省略しています。

改版履歴

版	日付	変更内容
1.0	2022/10	初版作成
1.1	2023/3	ESMPRO/Server Manager Ver.7に対応
1.2	2023/11	ESMPRO/Server Manager Ver.7.20に対応

はじめに

対象読者と目的

NEC Hyper Converged System for VMware vSAN (以下、NEC HCS) 環境に、NEC Hyper Converged System Console(*1) (以下、HCS Console) と ESMPRO/ServerManager(*2) (以下、ESMPRO/SM) を導入済みのユーザを対象に、エクスプレス通報サービスを利用するための設定方法を説明します。

(*1) NEC Hyper Converged System Console v3.0 以降

(*2) ESMPRO/ServerManager v6またはv7

1. NEC HCS のエクスプレス通報サービス

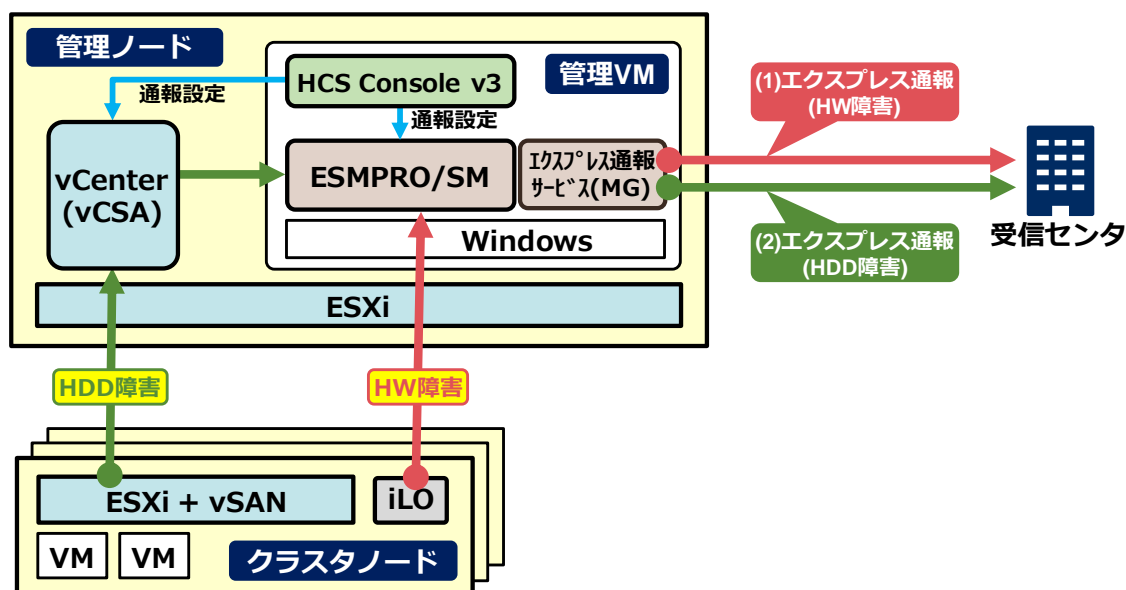
NEC HCS の通報サービスには、以下の2つの提供形態があり、それぞれの申込みと設定が必要です。

(1) エクスプレス通報(HW障害)

iLOが検出した管理ノード/クラスタノードのHW障害(HDD障害は含みません)を通報します

(2) エクスプレス通報(HDD障害)

ESXiが検出したvSAN構成のHDD障害をvCenter経由で通報します



エクスプレス通報サービス(MG)とは

ESMPRO/ServerAgent または ESMPRO/ServerAgentService を導入できない装置が故障した場合に、ESMPRO/SM が検出した故障情報(または予防保守情報)を、電子メール、モデム、HTTPS 経由で受信センタに通報します。

ESMPRO/SM では、vSAN の HDD 障害アラートを検出することができないため、vCenter Server に通知された HDD 障害アラートを ESMPRO/SM に転送することでエクスプレス通報が可能となります。

本手順書におけるエクスプレス通報サービスの導入条件

- NEC HCS は管理ノードとクラスタノードで構成すること。
- 管理ノード上に構築する 管理 VM に HCS Console v3.0 以降 と ESMPRO/ServerManager v6 または v7 をインストールすること。
- vCenter Server (vCSA) を管理ノード上に構築し、管理 VM と通信できること。
- 管理ノードとクラスタノードは同じ場所に設置すること。
- 通報手段は HTTPS 通報かメール通報を選択すること。
- 通報ルートは MG 通報を選択すること。
- エクスプレス通報サービス(MG) Ver3.7 以降をインストールすること。

2. エクスプレス通報サービスの運用に必要な作業

NEC HCS でエクスプレス通報サービスの運用を始めるには以下の作業が必要となります。

作業項目	お客様作業	NEC営業作業
(1) 管理ノード/クラスタノードの保守契約締結	○	○
(2) 管理ノード/クラスタノードのエクスプレス通報サービス申し込み	○	○
(3) クラスタノードHDD障害通報の申請	—	○
(4) クラスタノードHDD障害のエクスプレス通報サービス申し込み	—	○
(5) HCS Consoleの設定	△*1	—
(6) エクスプレス通報サービス(MG)のインストール	△*2	—
(7) エクスプレス通報サービス(MG)の設定	△*2	—
(8) ESMPRO/SMの設定	△*2	—
(9) 開局作業	○	—

△*1: 構築サービスを実施している場合は、お客様での作業は不要

△*2: 構築サービスでエクスプレス通報サービス設定(オプション項目) 実施している場合は、お客様での作業は不要

事前に作業項目(1)～(4)を実施しておき、(5)以降を実施する際に以下を用意しておく必要があります。

- ・管理ノード、クラスタノードの開局キー
- ・管理 VM 用の開局キー
- ・管理 VM 用の受信情報設定ファイル(構築サービスでエクスプレス通報サービス設定を実施した場合は不要)

※事前準備が出来ていない場合は、用意ができてから作業を実施して下さい。

(1) 管理ノード/クラスタノードの保守契約締結

管理ノード/クラスタノードの保守を手配してそれぞれの機器管理番号を取得します。

保守の手配方法については、弊社営業にご相談ください。

(2) 管理ノード/クラスタノードのエクスプレス通報サービス申し込み

エクスプレス通報サービスの申し込みを行い管理ノード/クラスタノードの開局キーを取得します。

エクスプレス通報サービスの申し込み方法については、以下を参照するか、弊社営業にご相談ください。

NEC エクスプレス通報サービス ご利用の手引き

<http://acc.express.nec.co.jp/notice/man/guide.htm>

(3) クラスタノードHDD障害通報の申請

弊社営業が申請作業を行いますので、弊社営業にご相談ください
本作業により、管理VM(仮想マシン)の機器管理番号を取得します。

(4) クラスタノードHDD障害のエクスプレス通報サービス申し込み

弊社営業が作業を行いますので、弊社営業にご相談ください
本作業により、管理VM用の開局キーを取得します。

(5) HCS Consoleの設定

NEC HCS Consoleを起動/ログインし、アラートビューア連携機能を有効にして、vCenter Serverが検出したアラームを、アラートビューアに表示できるようにします。

1. 画面左側のメニューで[設定]をクリックし、[設定]画面に切り替えます。
2. 画面上部の[通報設定]タブをクリックすると通報設定画面が表示されますので、[編集]をクリックします。



3. 「通報設定」ダイアログが表示されますので、[アラートビューア連携を行う]にチェックを付けた後、表示された入力欄に vCenter アラームの SNMP レシーバ情報 (ホスト名/IP アドレス、ポート、SNMP コミュニティ名) を入力して、[適用] をクリックします。画面左側のメニューで[設定]をクリックし、[設定]画面に切り替えます。

通報設定

☐ メール通報を行う

☒ アラートビューア連携を行う

ホスト名 / IPアドレス	nec-mvm
ポート	162
SNMPコミュニティ名	public

設定項目	説明
アラートビューア連携を行う	アラートビューア連携機能を利用する場合、チェックボックスをオンにします。
ホスト名/IP アドレス	トラップ送信先サーバ名 (ホスト名、または IP アドレス) を入力します。 NEC HCS Console、ESMPRO/ServerManager をインストールした管理サーバを設定してください。入力できる文字数は 63 文字以内です。
ポート	トラップ送信の UDP ポート番号を入力します。 「1～65535」の範囲で設定することができます。既定値は (162) です。
SNMP コミュニティ名	SNMP コミュニティ名を入力します。既定値は (public) です。

4. 設定後、ESMPRO/ServerManager の全てのサービスを停止し、その後全てのサービスを起動してください。

サービス停止/開始順序

サービスを停止/開始する場合は、下記の順序に従ってください。

● ESMPRO Ver.7の場合

■停止順序

1. ESMPRO/SM Web Service
2. ESMPRO/SM Task Service
3. DianaScope ModemAgent
4. ESMPRO/SM Web Container
5. ESMPRO/SM Event Manager
6. ESMPRO/SM Base AlertListener
7. ESMPRO/SM Common Component
8. ESM32BridgeService for AlertListener
9. ESM32BridgeService for NvAccessor
10. Alert Manager Socket(R) Service(*)
11. ESMPRO/SM Base Service
12. Dmi Event Watcher(*)
13. ESM Alert Service
14. ESM Command Service
15. ESM Remote Map Service
16. ESM Base Service
17. Alert Manager HTTPS Service(*)
18. Alert Manager WMI Service

■開始順序

1. Alert Manager WMI Service
2. Alert Manager HTTPS Service(*)
3. ESM Base Service
4. ESM Remote Map Service
5. ESM Command Service
6. ESM Alert Service
7. Dmi Event Watcher(*)

-
8. ESMPRO/SM Base Service
 9. Alert Manager Socket(R) Service(*)
 10. ESM32BridgeService for NvAccessor
 11. ESM32BridgeService for AlertListener
 12. ESMPRO/SM Common Component
 13. ESMPRO/SM Base AlertListener
 14. ESMPRO/SM Event Manager
 15. ESMPRO/SM Web Container
 16. DianaScope ModemAgent
 17. ESMPRO/SM Task Service
 18. ESMPRO/SM Web Service

● ESMPRO Ver.6の場合

■停止順序

1. DianaScope ModemAgent
2. ESMPRO/SM Web Container
3. ESMPRO/SM Event Manager
4. ESMPRO/SM Base AlertListener
5. ESMPRO/SM Common Component
6. ESM32BridgeService for AlertListener
7. ESM32BridgeService for NvAccessor
8. Alert Manager Socket(R) Service(*)
9. ESMPRO/SM Base Service
10. Dmi Event Watcher(*)
11. ESM Alert Service
12. ESM Command Service
13. ESM Remote Map Service
14. ESM Base Service
15. Alert Manager HTTPS Service(*)
16. Alert Manager WMI Service

■開始順序

1. Alert Manager WMI Service
2. Alert Manager HTTPS Service(*)
3. ESM Base Service
4. ESM Remote Map Service
5. ESM Command Service
6. ESM Alert Service
7. Dmi Event Watcher(*)
8. ESMPRO/SM Base Service
9. Alert Manager Socket(R) Service(*)
10. ESM32BridgeService for NvAccessor
11. ESM32BridgeService for AlertListener
12. ESMPRO/SM Common Component

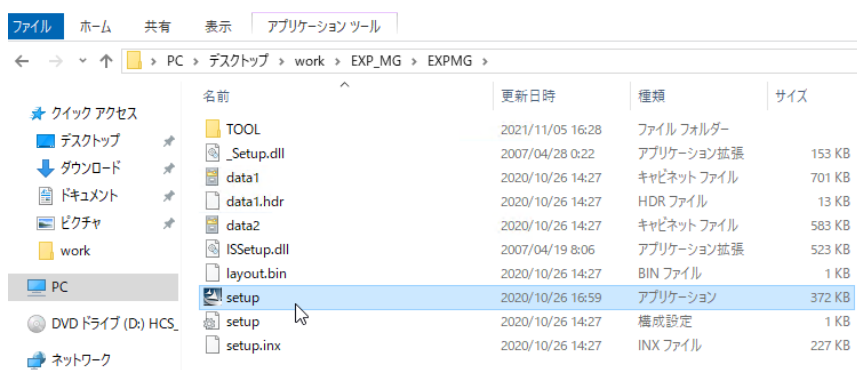
13. ESMPRO/SM Base AlertListener
14. ESMPRO/SM Event Manager
15. ESMPRO/SM Web Container
16. DianaScope ModemAgent

* 設定により停止しています。

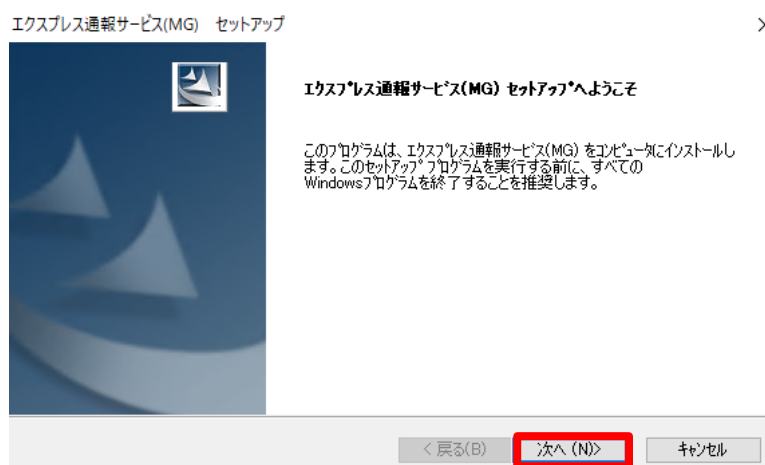
停止している場合は、サービスの停止/開始をする必要はありません。

(6) エクスプレス通報サービス(MG)のインストール

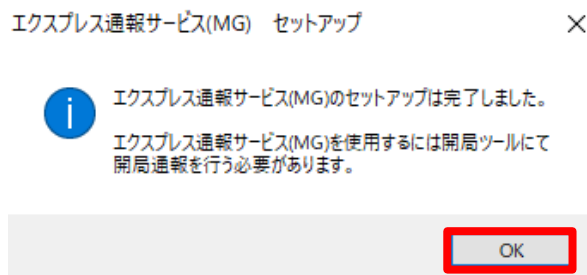
1. インターネットにアクセス可能な Windows 端末で以下 Web ページを表示し、エクスプレス通報サービス(MG)のセットアッププログラム(EXP_MG.zip)をダウンロードします。
<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102124>
2. ダウンロードした zip ファイルを管理 VM 上にコピーし、解凍します。
3. [¥EXPMG¥setup.exe]ファイルをダブルクリックします。



4. セットアップ画面が表示されますので、[次へ]をクリックします。



5. 以下の画面が表示されたら、[OK]をクリックします。



6. 管理 VM を再起動します。

以上で、エクスプレス通報サービス(MG)のインストールは完了です。

(7) エクスプレス通報サービス(MG)の設定

エクスプレス通報サービス(MG)に受信情報ファイルを登録します。

1. 以下の Web ページから iLO 受信情報ファイル(MGMTB.zip)をダウンロードします。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010100096>

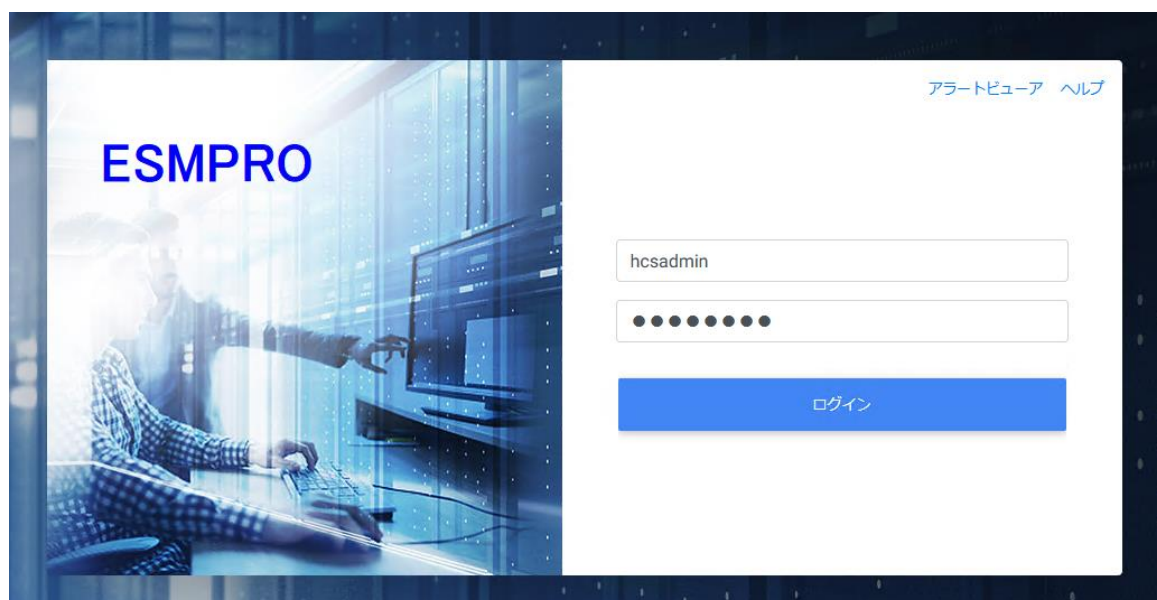
2. 手順 1 でダウンロードしたファイルと、管理 VM 用受信情報ファイル(AlertReport.MTB)を管理 VM 上にコピーし、zip ファイルは解凍します。

3. 管理 VM で Web ブラウザを起動した後、ESMPRO/ServerManager に接続し、ログインします。

- ESMPRO Ver.7 の場合

URL: `http:// 管理VMのホスト名(FQDN名):21120/esmpro`

(本書では `http://nec-mvm.vsan.local:21120/esmpro`)



- ESMPRO Ver.6 の場合

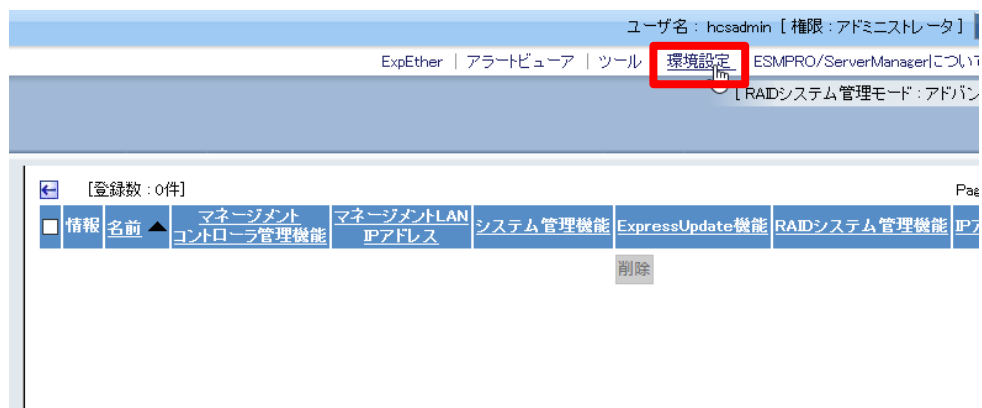
URL: `http:// 管理VMのホスト名(FQDN名):21120/esmpro`
 (本書では`http://nec-mvm.vsan.local:21120/esmpro`)



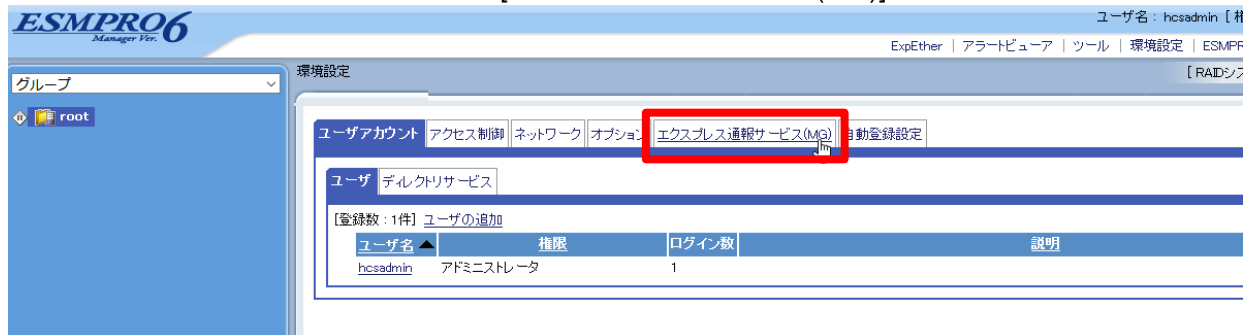
4.Ver.7の場合、画面右上の[クラシックモード]をクリックし、クラシックモードの画面を開きます。



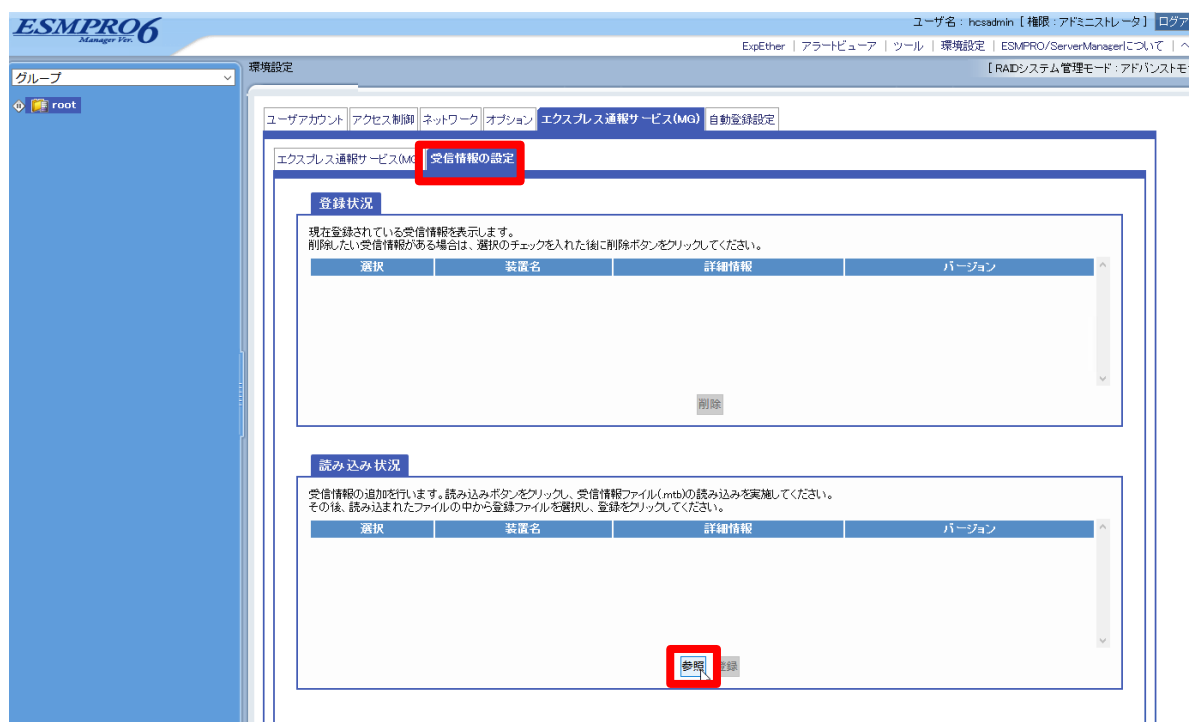
5.画面右上の[環境設定]をクリックします。



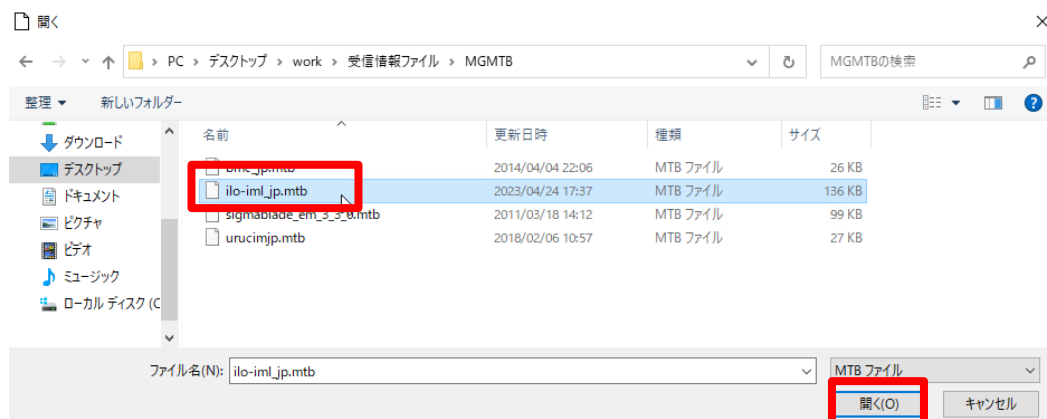
6. 「環境設定」画面が表示されますので、[エクスプレス通報サービス(MG)]タブをクリックします。



7. [受信情報の設定]タブをクリックし、[読み込み状況]配下の[参照]をクリックします。



8. ファイルの選択画面が表示されますので、iLO 用の受信情報ファイル「ilo-iml_jp.mtb」を選択し、[開く]をクリックします。



9. [読み込み状況]配下に、読み込んだ受信情報ファイルが表示されますので、チェックを入れて[登録]をクリックします。



10. [登録状況]配下に登録した受信情報ファイルが表示されます。



11. 管理 VM 用の受信情報ファイル「AlertReport.MTB」に対しても同様に手順 7 から手順 10 の手順を実施してください。

ユーザアカウント

アクセス制御

ネットワーク

オプション

エクスプレス通報サービス(MG)

自動登録設定

エクスプレス通報サービス(MG)

受信情報の設定

登録状況

現在登録されている受信情報を表示します。
削除したい受信情報がある場合は、選択のチェックを入れた後に削除ボタンをクリックしてください。

選択	装置名	詳細情報	バージョン
<input checked="" type="radio"/>	NEC HCS	NEC HCS SNMP Trap	1.0.3
<input type="radio"/>	ILO	ILO JML	2.0.0

削除

読み込み状況

受信情報の追加を行います。読み込みボタンをクリックし、受信情報ファイル(mtb)の読み込みを実施してください。
その後、読み込まれたファイルの中から登録ファイルを選択し、登録をクリックしてください。

選択	装置名	詳細情報	バージョン
----	-----	------	-------

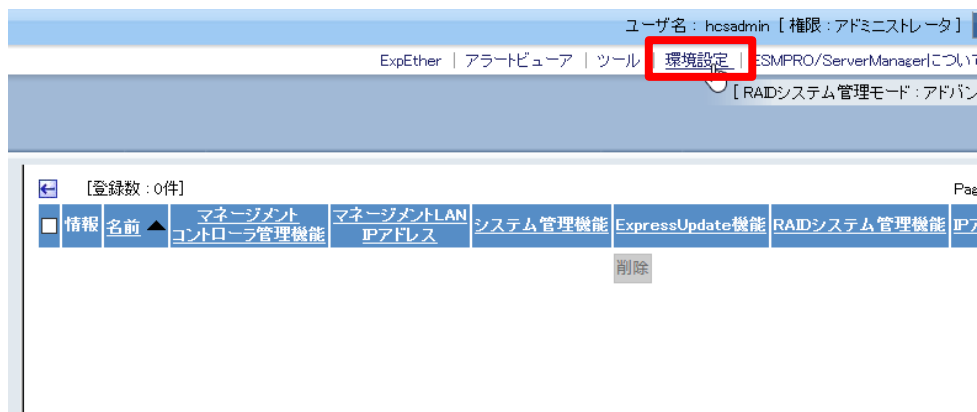
参照 登録

(8) ESMPRO/SMの設定

ESMPRO/ServerManagerにコンポーネントの登録を行います。

(8)-1環境設定

1. Ver.7 の場合は(7)の手順 4 を実施してクラシックモードを開いた状態にします。
2. 画面右上の[環境設定]をクリックします。



3. [ネットワーク]タブをクリックし、画面下部の[編集]をクリックします。



4. 「自己署名証明」の[許可する]にチェックを入れ、[適用]をクリックします。

環境設定 [RAIDシステム管理モード: アドバンスドモード]

ユーザアカウント アクセス制御 **ネットワーク** オプション エクスプレス通報サービス(MG) 自動登録設定

項目名	設定値
SNMP/ICMP通信	
パケット再送回数	3 回
無応答検出タイム値 1 (1 - 65535 秒) [必須]	4 秒
無応答検出タイム値 2 (1 - 65535 秒) [必須]	4 秒
無応答検出タイム値 3 (1 - 65535 秒) [必須]	4 秒
無応答検出タイム値 4 (1 - 65535 秒) [必須]	4 秒
リモートコンソール/リモートドライブとの通信	
無応答検出タイム値 (20 - 1800 秒) [必須]	60 秒
BMCとの通信	
IPMI 無応答検出タイム値 (1 - 15 秒) [必須]	5 秒
コマンド送信リトライ回数 (0 - 10 回) [必須]	5 回
送信元ポート (1025 - 65535) [必須]	47117
自動選択時に優先するアクセス方式 [必須]	<input checked="" type="radio"/> Redfish <input type="radio"/> IPMI
Redfish 無応答検出タイム値 (1 - 30 秒) [必須]	20 秒
自己署名証明	<input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 許可しない
ダイレクト接続設定	
使用ポート番号	シリアルポート1
WS-Man通信 / ESXi	
自己署名証明	<input type="radio"/> 許可する <input checked="" type="radio"/> 許可しない
iLOとの通信	
無応答検出タイム値 (1 - 30 秒) [必須]	20 秒
コマンド送信リトライ回数 (0 - 10 回) [必須]	0 回
自動登録時の通信プロトコル	<input checked="" type="radio"/> HTTPS <input type="radio"/> HTTP
自己署名証明	<input checked="" type="radio"/> 許可する <input type="radio"/> 許可しない

適用 キャンセル デフォルト設定

5. 以下のダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。

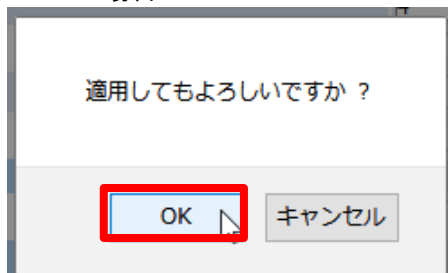
Ver.7の場合

 nec-mvm.vsan.local:21112

適用してもよろしいですか？



Ver.6の場合



6. 「自己署名証明」が「許可する」になっていることを確認します。

Ver.7 の場合は画面右上の[閉じる]をクリックし、クラシックモードの画面を閉じてください。

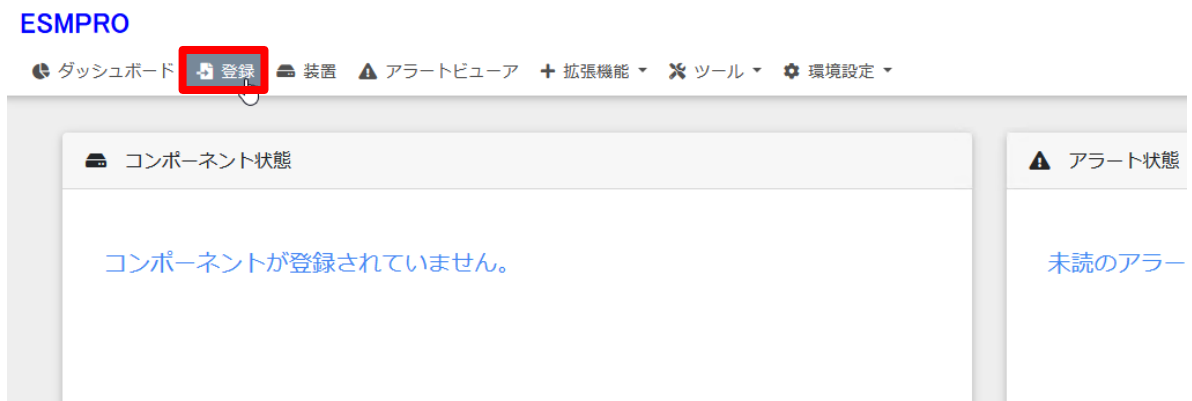


(8)-2 iLOコンポーネントの登録

ESMPRO/ServerManagerに管理ノード、クラスターノードのiLOコンポーネントを登録します。
ESMPRO/ServerManagerのバージョンによって手順が異なりますので、ご使用のバージョンに応じて参照してください。

- ESMPRO Ver.7の場合

1. 画面上部の[登録]をクリックします。



-
2. [自動登録]をクリックします。

ESMPRO

🏠 ダッシュボード 📄 登録 🖨 装置 ⚠ アラートビューア



3. 自動登録画面の「検索範囲」で「検索モード」が「IP アドレス範囲指定検索」になっていることを確認し、検索する iLO の IP アドレスの開始アドレスと終了アドレスを指定します。
続けて「サーバ/ストレージ」にチェックを付け、「iLO」を[有効]にし、検索する iLO のユーザとパスワードを入力します。
「iLO」以外の「検索」は[無効]にし、最後に[検索]をクリックします。

自動登録 手動登録

登録先グループ

root

検索範囲

検索モード

☒ IPアドレス範囲指定検索 ☐ ネットワークアドレス検索

開始アドレス【必須】

172

16

0

7

終了アドレス【必須】

172

16

0

10

☒ サーバ/ストレージ

SNMP (ESMPRO/ServerAgent, iStorage Mシリーズ)

検索

☐ 有効☒ 無効

WS-Man (ESMPRO/ServerAgentService, ESXi7 (前))

検索

☐ 有効☒ 無効

ESXi (ESXi8)

検索

☐ 有効☒ 無効

RAIDシステム管理機能

検索

☐ 有効☒ 無効

ExpressUpdate機能

検索

☐ 有効☒ 無効

BMC (EXPRESSSCOPEエンジン)

検索

☐ 有効☒ 無効

iLO

検索

☒ 有効☐ 無効

△ iLOの管理を行わない場合、装置によってはハードウェア監視を行えない場合があります。装置ごとの詳細については自動登録結果画面を参照してください。

ユーザ名/パスワード【必須】

hcsadmin

/ ●●●●●●●●

追加

BMC(その他)

検索

☐ 有効☒ 無効

Intel(R) vPro(TM) Technology

検索

☐ 有効☒ 無効☐ UPS☐ ネットワーク機器☐ その他コンピュータ機器

検索

4. 検索が開始され、しばらくすると以下のダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。

 nec-mvm.vsan.local:21120

2022/02/16 16:39:52 コンポーネント名の取得/変更が完了し、自動登録に成功しました。



5. 自動登録結果が表示されますので、指定した iLO コンポーネントが登録されていることを確認し、[装置一覧に戻る]をクリックします。

自動登録結果

登録件数: 4件

名前	IPアドレス	マネージメントLAN IPアドレス1	マネージメントLAN IPアドレス2	ExpressUpdate Agentのインストール	内容
ManagementController		172.16.0.7		ExpressUpdate 無効	コンポーネントが追加されました。
ManagementController0001		172.16.0.8		ExpressUpdate 無効	コンポーネントが追加されました。
ManagementController0002		172.16.0.9		ExpressUpdate 無効	コンポーネントが追加されました。
ManagementController0003		172.16.0.10		ExpressUpdate 無効	コンポーネントが追加されました。

[装置一覧に戻る](#) [続けて登録](#)

6. iLO コンポーネントが表示されていることと、状態が「正常」であることを確認します。

ESMPRO

ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ クラシックモード

ダッシュボード 登録 装置 アラートビューア + 拡張機能 ツール 環境設定

装置一覧 [+ グループ追加](#) root

[最新の情報に更新](#)

☒ 異常
 ☒ 警告
 ☒ DC-OFF/POST/OS Panic
 ☒ 不明
 ☒ 正常
 ☒ 状態取得中

状態	名称	種別	連携先リンク	IPアドレス	マネージメントLAN IPアドレス	メモ
<input checked="" type="checkbox"/>	ManagementController	サーバ		172.16.0.7		
<input checked="" type="checkbox"/>	ManagementController0001	サーバ		172.16.0.8		
<input checked="" type="checkbox"/>	ManagementController0002	サーバ		172.16.0.9		
<input checked="" type="checkbox"/>	ManagementController0003	サーバ		172.16.0.10		

状態が「状態取得中」となっている場合、[最新の情報に更新]をクリックし、正常に変わることを確認してください。

ESMPRO

ESMPRO/ServerManagerについて ヘルプ クラシックモード

ダッシュボード 登録 装置 アラートビューア + 拡張機能 ツール 環境設定

装置一覧 [+ グループ追加](#) root

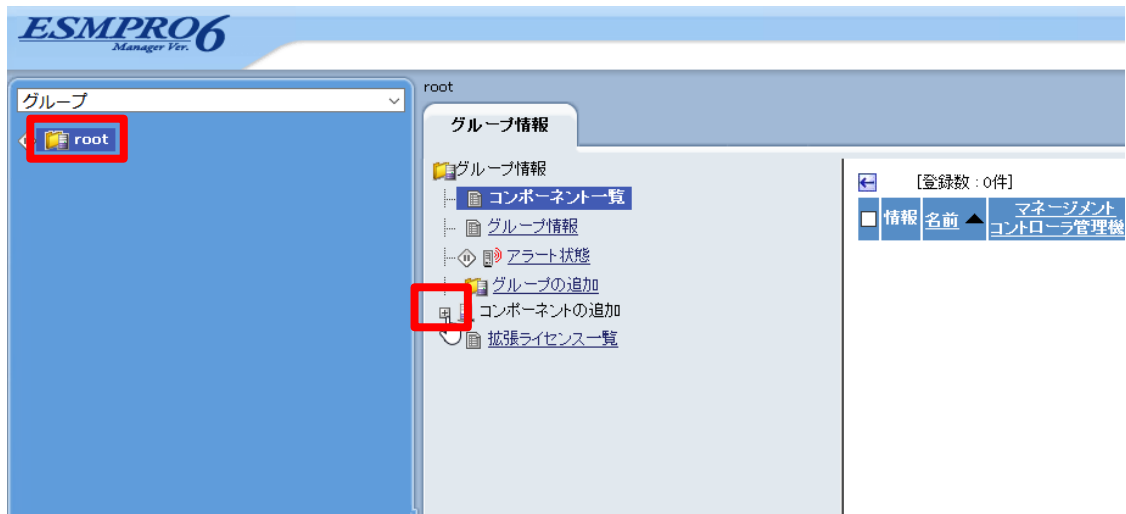
[最新の情報に更新](#)

☒ 異常
 ☒ 警告
 ☒ DC-OFF/POST/OS Panic
 ☒ 不明
 ☒ 正常
 ☒ 状態取得中

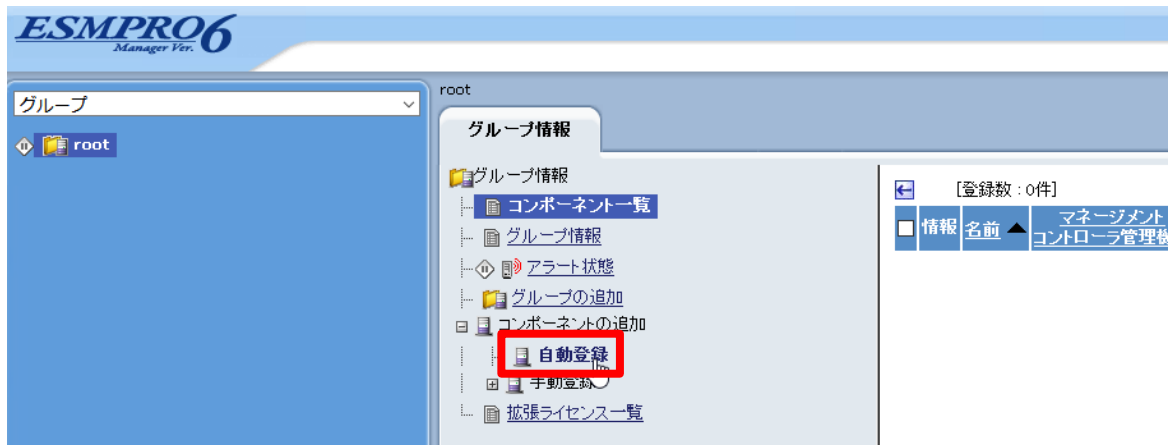
状態	名称	種別	連携先リンク	IPアドレス	マネージメントLAN IPアドレス	メモ
<input checked="" type="checkbox"/>	ManagementController	サーバ		172.16.0.7		
<input checked="" type="checkbox"/>	ManagementController0001	サーバ		172.16.0.8		
<input checked="" type="checkbox"/>	ManagementController0002	サーバ		172.16.0.9		
<input checked="" type="checkbox"/>	ManagementController0003	サーバ		172.16.0.10		

- ESMPRO Ver.6の場合

1. 画面左メニューのグループ[root]をクリックして「グループ情報」タブを開き、「コンポーネントの追加」左側のアイコンをクリックします。



2. [自動登録]をクリックします。



3. 設定画面が表示されますので、「検索範囲」で「IP アドレス範囲指定検索」になっていることを確認し、検索する iLO の IP アドレスの開始アドレスと終了アドレスを指定します。
 続けて、「iLO」で検索する iLO のユーザとパスワードを入力します。
 「iLO」以外の「検索」は[無効]にし、最後に[検索]をクリックします。

root > コンポーネントの追加 > 自動登録 [RAIDシステム管理モード: アドバンスドモード]

グループ情報 | サーバー一括操作 | スケジュール

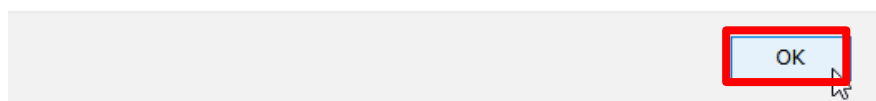
グループ情報

- コンポーネント一覧
- グループ情報
- アラート状態
- グループの追加
- コンポーネントの追加
- 自動登録
- 手動登録
- 拡張ライセンス一覧

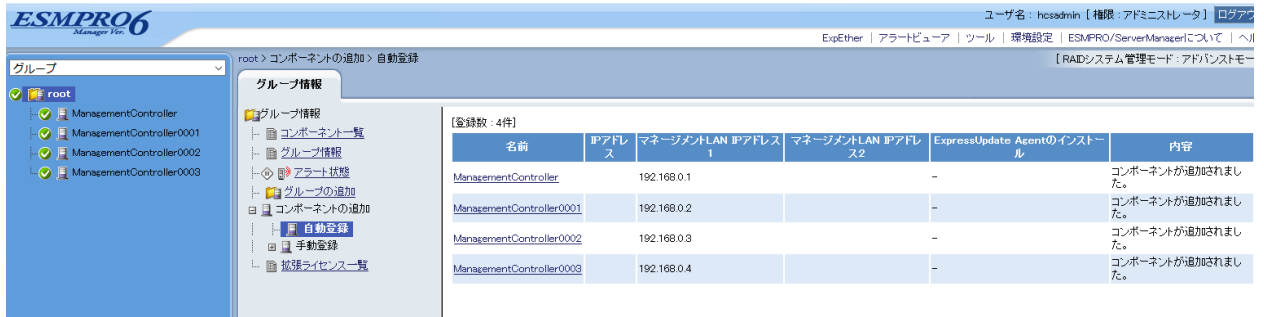
項目名	設定値
登録先グループ	root
検索範囲	
検索モード	<input checked="" type="radio"/> IPアドレス範囲指定検索 <input type="radio"/> ネットワークアドレス検索
開始アドレス【必須】	192 . 168 . 0 . 1
終了アドレス【必須】	192 . 168 . 0 . 4
SNMP (ESMPRO/ServerAgent)	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
WS-Man	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
RAIDシステム管理機能	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
ExpressUpdate機能	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
BMC (EXPRESSSCOPEエンジン)	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
<small>⚠ BMC (EXPRESSSCOPEエンジン) の管理を行わない場合、装置によってはハードウェア監視を行えない場合があります。装置ごとの詳細については自動登録結果画面を参照してください。</small>	
iLO	
検索	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
<small>⚠ iLO の管理を行わない場合、装置によってはハードウェア監視を行えない場合があります。装置ごとの詳細については自動登録結果画面を参照してください。</small>	
ユーザ/パスワード【必須】	hcsadmin / <input type="button" value="追加"/>
BMC (その他)	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
<small>⚠ BMC (その他) の管理を行わない場合、装置によってはハードウェア監視を行えない場合があります。装置ごとの詳細については自動登録結果画面を参照してください。</small>	
Intel(R) vPro(TM) Technology	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
<input type="button" value="検索"/>	

4. 検索が開始され、しばらくすると以下のダイアログが表示されますので、[OK]をクリックします。

2021/11/08 15:00:12 コンポーネント名の取得/変更が完了し、自動登録に成功しました。



5. 指定した iLO コンポーネントが登録されていることを確認します。



《参考》

自動登録の場合、ESMPro/ServerManager 上でのコンポーネントの名前「コンポーネント名」は、システム管理が検索できない場合は「ManagementController + 番号」になります。

コンポーネント登録後に名前を変更する場合は、ESMPro/ServerManager上でコンポーネントの[設定]-[接続設定]画面から実施できます。

《参考》

ノード間のiLOのIPアドレスがまばらな場合(*)や自動登録ができない環境などの場合、以下の手順で手動登録を実施してください。

* 自動登録の場合、検索範囲が広くなると登録に時間がかかります

● Ver.7の場合

1. 画面左上の[登録]をクリックします。



2. 「手動登録」タブを開き、「サーバ/ストレージ」を選択します。



3. コンポーネント名を入力し、
 「"BMC (EXPRESSSCOPE エンジン)" / "iLO" / "BMC (その他)" / "vPro" (Common)」の
 「管理」で[登録]、「管理対象」で[iLO]を選択して、登録する iLO の[ユーザ名]と[パスワード]を入力します。
 続けて[IP アドレス 1]に iLO の IP アドレスを入力します。
 「SNMP (ESMPro/ServerAgent)/WS-Man/ESXi/iStorage」、「RAID システム管理機能」の[管理]と、
 「ExpressUpdate 機能」の[ExpressUpdate Agent 経由のアップデート]は未登録を選択します。
 入力が完了したら、[追加]をクリックします。

コンポーネント名【必須】 ManagementContr

別名

登録先グループ root

SNMP (ESMPRO/ServerAgent) / WS-Man / ESXi / iStorage

管理 ☐ 登録 ☒ 未登録

RAIDシステム管理機能

管理 ☐ 登録 ☒ 未登録

ExpressUpdate機能

ExpressUpdate Agent経由のアップ
デート ☐ 登録 ☒ 未登録

"BMC (EXPRESSSCOPEエンジン)"/"iLO"/"BMC (その他)"/"vPro" (Common)

管理 ☒ 登録 ☐ 未登録

△ BMC/iLOの管理を行わない場合、装置によってはハードウェア監視を行えない場合があります。
装置ごとの詳細については接続チェック結果画面を参照してください。

管理対象 ☐ BMC ☒ iLO ☐ BMC(その他) ☐ vPro

△ "BMC (EXPRESSSCOPEエンジン)"は、EXPRESSSCOPEエンジン1/2/3/3ft/2SP/3SP,EMカード (SIGMABL ADE) ,BMC (ECOCENTER) ,BMC (メニコアサーバ) が対象です。
上記以外の場合でかつiLO/vPro以外のマネージメントコントローラ管理の場合は"BMC (その他)"を選択して下さい。

ユーザ名/パスワード【必須】 hcsadmin / ●●●●●●●●

通信プロトコル ☐ HTTP ☒ HTTPS

ポート番号【必須】 443

"BMC (EXPRESSSCOPEエンジン)"/"iLO"/"BMC (その他)"/"vPro" (LAN)

IPアドレス1【必須】 172 . 16 . 0 . 7

追加

4. 「接続チェック」画面が表示されますので、[接続チェック]をクリックします。

自動登録 手動登録

サーバ/ストレージ UPS ネットワーク機器 その他コンピュータ機器 アラート受信のみ管理

コンポーネントをリモート管理するためには
続けて接続チェックを実施してください

接続チェック

5. 接続チェックが正常に終了し、「検出」「iLO が使用できます。」の結果が表示されることを確認したら、[装置一覧に戻る]をクリックします。引き続き登録する場合は[続けて登録]をクリックし、iLO コンポーネントを登録してください。



6. 追加したコンポーネントが表示されていることと、状態が「正常」であることを確認します。

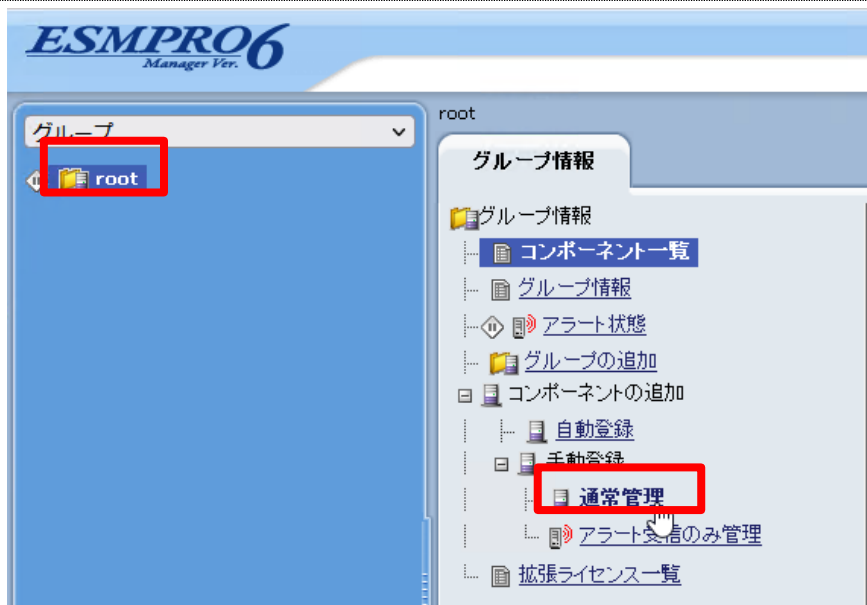


状態が「状態取得中」となっている場合、[最新の情報に更新]をクリックし、正常に変わることを確認してください。



● Ver.6の場合

- コンポーネントを追加するグループ名(root)を選択した状態で[コンポーネントの追加]-[手動登録]-[通常管理]をクリックし、入力画面を開きます。



- コンポーネント名を入力し、
「BMC (EXPRESSSCOPE エンジン)」 / 「iLO」 / 「BMC (その他)」 / 「vPro (Common)」の
「管理対象」で iLO を選択して、登録する iLO の[ユーザ名]と[パスワード]を入力します。
続けて[IP アドレス 1]に iLO の IP アドレスを入力します。
「SNMP (ESMPro/ServerAgent)/WS-Man」、
「RAID システム管理機能」の[管理]と、
「ExpressUpdate 機能」の[ExpressUpdate Agent 経由のアップデート]は未登録を選択します。
入力が完了したら、[追加]をクリックします。

項目名	設定値
コンポーネント名 [必須]	ManagementController0001
別名	
所属グループ	root
接続形態	<input checked="" type="radio"/> LAN <input type="radio"/> ダイレクト <input type="radio"/> モデム
SNMP (ESMPro/ServerAgent) / WS-Man	
管理	<input type="radio"/> 登録 <input checked="" type="radio"/> 未登録
RAIDシステム管理機能	
管理	<input type="radio"/> 登録 <input checked="" type="radio"/> 未登録
ExpressUpdate機能	
ExpressUpdate Agent経由のアップデート	<input type="radio"/> 登録 <input checked="" type="radio"/> 未登録
「BMC (EXPRESSSCOPEエンジン)」 / 「iLO」 / 「BMC (その他)」 / 「vPro (Common)」	
管理	<input checked="" type="radio"/> 登録 <input type="radio"/> 未登録
<p>⚠ BMC / iLO の管理を行わない場合、装置によってはハードウェア監視を行えない場合があります。装置ごとの詳細については接続チェック結果画面を参照してください。</p>	
管理対象	<input type="radio"/> BMC <input checked="" type="radio"/> iLO <input type="radio"/> BMC (その他) <input type="radio"/> vPro
<p>「BMC (EXPRESSSCOPEエンジン)」は、EXPRESSSCOPEエンジン1/2/3/3ft/2SP/3SP, EMカード (SIGMABLADE), BMC (ECO CENTER), BMC (メーコアサーバ) が対象です。 上記以外の場合でかつ iLO / vPro 以外のマネージメントコントローラ管理の場合は「BMC (その他)」を選択して下さい。</p>	
ユーザ名 [必須]	hcsadmin
パスワード [必須]
通信プロトコル	<input type="radio"/> HTTP <input checked="" type="radio"/> HTTPS
ポート番号 [必須]	443
「BMC (EXPRESSSCOPEエンジン)」 / 「iLO」 / 「BMC (その他)」 / 「vPro (LAN)」	
IPアドレス1 [必須]	172 . 16 . 0 . 8
<input type="button" value="追加"/>	

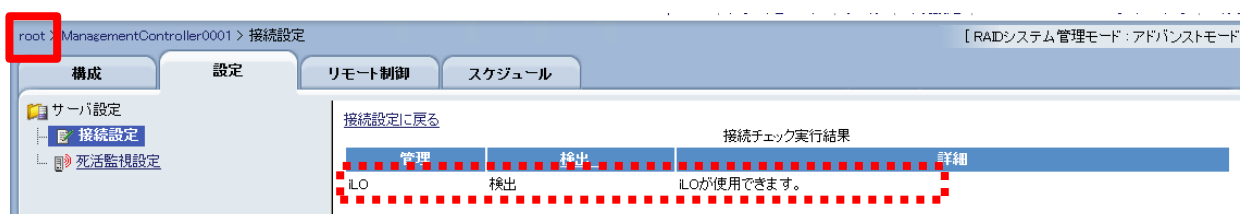
3. 追加されたコンポーネント名をクリックします。




4. 「設定」タブの「接続設定」画面が開きます。
「接続チェックが行われていないためコマンドを実行できませんでした(未接続)」と表示されていることを確認し、画面下部の[接続チェック]をクリックして接続チェックを実行します。



5. 接続チェックが正常に終了し、「検出」「iLO が使用できます。」の結果が表示されることを確認したら、グループ名(root)をクリックします。



6. 追加したコンポーネントの[情報]列のアイコンが緑チェックになっていることを確認します。



以上で iLO コンポーネントの手動登録は完了です。
手動登録する iLO コンポーネントが複数ある場合は、再度本手順を実施してください。

(8)-3 「アラート受信のみ管理」コンポーネントの追加

「アラート受信のみ管理」コンポーネントに監視対象とするvCenter Serverを追加します。

ESMPRO/ServerManagerのバージョンによって手順が異なりますので、ご使用のバージョンに応じて参照してください。

- ESMPRO Ver.7の場合

1. 画面上部の[登録]をクリックします。



2. 「手動登録」タブを開き、[アラート受信のみ管理]をクリックします。



3. コンポーネント名と vCenter Server の IP アドレスを入力し、[追加]をクリックします。
(本書では vSAN_HDD)

※ コンポーネント名は他のコンポーネントの名前と重ならない名前を設定してください。
空白文字を含む名前は入力できません。大文字と小文字は区別されます。

自動登録 手動登録

サーバ/ストレージ UPS ネットワーク機器 その他コンピュータ機器 アラート受信のみ管理

コンポーネント名【必須】

別名

登録先グループ

IPアドレス【必須】

追加が完了すると、画面下部に「アラート受信のみ管理の登録に成功しました。」と表示されます。

アラート受信のみ管理の登録に成功しました。

4. 画面上部の[装置]をクリックし、追加したコンポーネントが表示されていることを確認します。

ESMPRO

ESMPRO

ダッシュボード 登録 **装置** アラートビューア + 拡張機能 ツール 環境設定

装置一覧

最新の情報に更新

●異常 ●警告

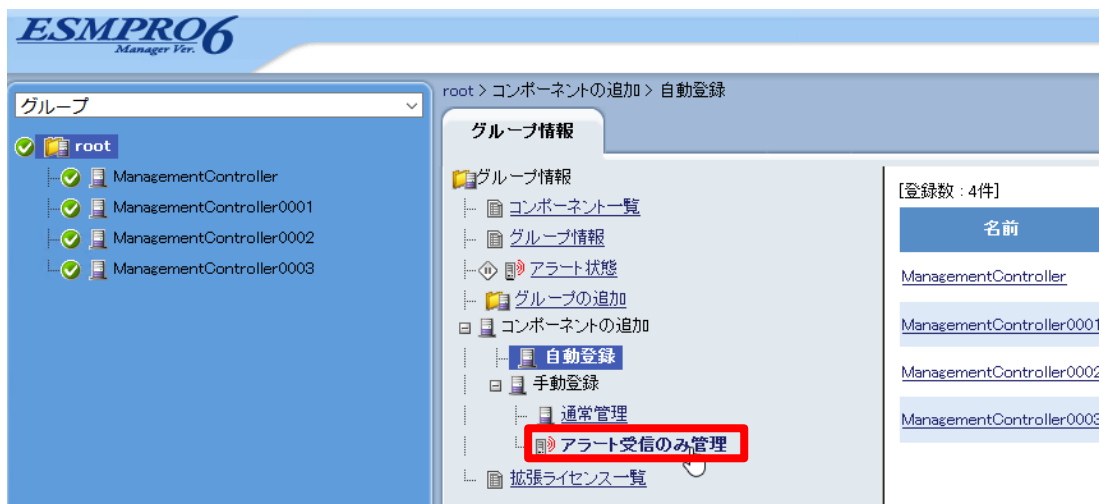
状態	名称	種別	連携先リンク	IPアドレス	管理LAN IPアドレス
<input type="checkbox"/>	ManagementController	サーバ			172.16.0.7
<input type="checkbox"/>	ManagementController0001	サーバ			172.16.0.8
<input type="checkbox"/>	ManagementController0002	サーバ			172.16.0.9
<input type="checkbox"/>	ManagementController0003	サーバ			172.16.0.10
<input type="checkbox"/>	vSAN_HDD	アラート受信のみ		172.16.0.62	

● ESMPRO Ver.6の場合

1. (8)-2 項の手順 1 の操作を実施した後、「手動登録」左のアイコンをクリックします。

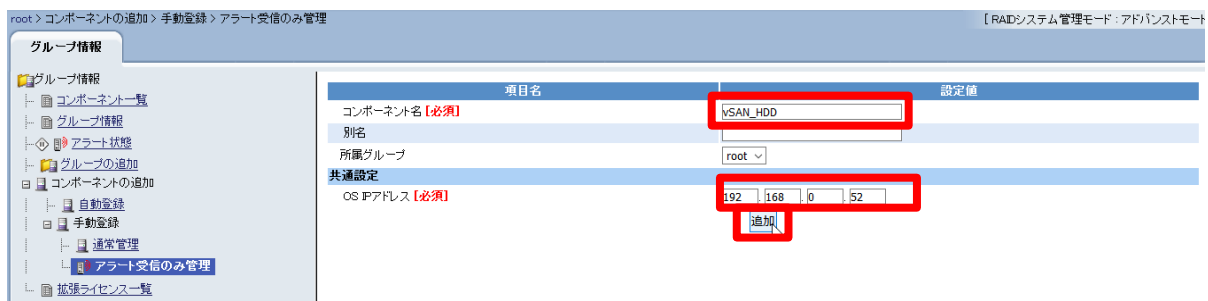


2. 「アラート受信のみ管理」をクリックします。



3. 設定画面が表示されますので、コンポーネント名と vCenter Server の IP アドレスを入力し、[追加]をクリックします。(本書では vSAN_HDD)

※ コンポーネント名は他のコンポーネントの名前と重ならない名前を設定してください。
空白文字を含む名前は入力できません。大文字と小文字は区別されます。



4. 追加したコンポーネントが表示されていることを確認します。



(9) 開局作業

開局作業は、管理ノード、クラスターノード、およびクラスターノードのHDD障害通報のために「アラート受信のみ管理」コンポーネントとして登録したvCenter Serverのそれぞれに対し、対応する開局キーを利用して行います。

開局作業については、「エクスプレス通報サービス(MG)インストールガイド(Windows編)」の「2章 インストール」「3. 開局ツール」を参照して行います。

「エクスプレス通報サービス(MG)インストールガイド(Windows編)」は以下のWebページからダウンロードします。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102124>

用語集

ESMPRO/ServerManager ESMPRO/SM	Express5800シリーズに標準添付のサーバ管理ソフトウェアです。
NEC Hyper Converged System Console NEC HCS Console	NEC Hyper Converged System Console は、NEC Hyper Converged System の管理に特化し、その効率的な運用にフォーカスした運用管理ツールです。
vCenter Server	複数のESXi、およびその上に構成された仮想マシンを統合管理するためのVMware 社の製品です。
VMware vCenter Server Appliance vCSA	vCenter Server を実行するために最適化されたLinuxの仮想マシンです。
VM	"Virtual Machine" の略です。仮想マシンと同じです。「仮想マシン」の項を参照してください。
vSAN	VMware vSAN (Virtual SAN) とは、VMware 社のストレージソフトウェアの1つで、ローカルディスクの共有ストレージ化やストレージのポリシーベースでの管理などを実現します。
仮想マシン	ノード（仮想マシンサーバ）上に仮想的に実現されたマシンを指します。
仮想マシンサーバ	ノードの別称です。仮想マシンを実現するためのサーバを指します。一般的にはハイパーバイザや仮想化ホストと呼ばれることが多いです。
管理ノード	クラスタノードを管理するための、vCSAと管理VMを動作させるためのサーバです。
クラスタノード	vSANクラスタを構成するサーバ群です。
管理 VM	管理ノード上で動作する、Windows Server 2016の仮想マシンです。NEC HCS Console がインストールされています。
管理対象マシン	NEC HCS Console で管理対象とするマシンです。
マシン	NEC HCS Console で管理できるノード(仮想マシンサーバ) / 仮想マシンの総称です。

文書番号:NHS-E-259-012

**NEC Hyper Converged System
for VMware vSAN
エクスプレス通報サービス導入手順書**

2023年 11月 第1.2版

© NEC Corporation 2022 - 2023

本書内の記載内容および図を作成者からの許可なしに、その全体または一部について
改変・複製することを禁じます。

その他、本書の免責事項は「免責事項」の項を参照